

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域福祉と包括的支援体制 a		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>地域における人と人のつながりの希薄化が指摘されて久しい。その様な状況にもかかわらず、問題解決の場、または問題に向き合う場として地域の重要性は増している。当科目では、地域における生活課題を理解し、地域共生社会に向けた包括的支援体制について考えることを目的とする。</p> <p><概要>本講義では、知識学習だけでなく事例を通じた実践的な学びを行う。そのため、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を繰り返し活用し理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じてプリントを配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域福祉の理念ならびに歴史の変遷について理解し、説明できる。		HSU(2)、WP(5)		
②	地域を取り巻く社会的状況や地域生活課題について理解し、説明できる。		HSU(2)、WP(5)		
③	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について理解し、説明できる。		HSU(4)~(5)、WP(3)~(4)		
④	自分と他人との価値観・考え方の違いを理解し、説明できる。		HSU(6)、WP(6)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。地域福祉の全体像を理解する。	講義	内容の復習を行う。	2	
2	地域社会と地域生活課題について理解する。①	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
3	地域社会と地域生活課題について理解する。②	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
4	地域社会と地域生活課題について理解する。③	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	2	
5	地域共生社会と包括的支援体制について理解する。①	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
6	地域共生社会と包括的支援体制について理解する。②	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
7	地域共生社会と包括的支援体制について理解する。③	グループワーク	プレゼンテーションに向けた準備を行う。	4	
8	地域共生社会と包括的支援体制について理解する。④	プレゼンテーション	プレゼンテーションの振り返り、成果と課題を整理する。	2	
9	地域福祉ガバナンスについて理解する。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
10	地域福祉における多機関協働について理解する。①	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
11	地域福祉における多機関協働について理解する。②	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	2	
12	地域福祉の基本的な考え方について理解する。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
13	地域福祉の歴史の変遷について理解する。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
14	地域福祉の主体と福祉教育について理解する。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
15	地域福祉の全体像について理解する。	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	20	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 試験範囲は講義中に用いた教科書・配付プリントから中心に出題し、理解度を問う。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		プレゼンテーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。				講義内で適宜フィードバックする。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		講義中に理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。				講義内で適宜フィードバックする。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した地域福祉に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野からソーシャルワークの素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						